

## 「あまり緊張感は感じませんでした。」初優勝！畑 秀明（JBC）選手



7月27日・28日

PBA チーター・オープン

PBA fuji Bowl (埼玉：入間市)

神奈川県出身 年齢17歳  
身長：173cm 体重：65kg  
足サイズ：26.5cm  
ボウリング始めたのは2011年  
目標選手：ベルモンテ

試合中はあまり緊張感は感じませんでした。大会の会心のゲームはやはり決勝戦。  
参加選手中、唯一の200超えアベの201.83。全選手が苦しむ中、見事な投球でした。

◆PBAリージョナル、ダブルスでの優勝はありますがシングルでは初優勝です。  
おめでとうございます。

ーありがとうございます。

◆決定戦で戦った、柴山選手の印象をお聞かせください。

ーそうですね、1回戦から勢いがあったので、気合を入れて投げました。

◆今回の予選からこの決勝シュートアウト迄の流れ的にどうでしたか？

ー予選から同じラインを投げていて、あの辺りのラインは得意でしたので  
最後まで通用して良かったです。

◆今日の使用したボールの特徴だったり、レイアウトだったり、何かあったら教えてください。

ーハンマー社のパープルパールウレタンでした。

このボールは、フッキングから止まってるの起き上がりが他のウレタンボールと違い  
良かったです。

◆さあ優勝で賞金30万円ですが、これの使い道の予定はありますか？

ー車の免許を取る費用に充てたいと思っています。

◆この優勝を誰に伝えたいですか？

ーはい、日ごろ応援してくれている両親、学校をはじめ色々な人に。  
それからITカンファーマ鈴木社長に、感謝の報告したいと思います。

◆リージョナル7戦の最終目標は、PBAワールドシリーズ招待ですが、これを見据えて何かあれば。

ーまだまだこの優勝も完全な優勝ではなくて、自分のやり残したことがいっぱいあるので、  
課題を克服のための練習して、少しでも完璧な状態で続くリージョナルを戦いたいです。



PBA ジャパンリーグ ヨナル 2019 / 2020

## フジカップ・PBAチーター

7月21日～28日 開催

会場：埼玉県入間市 PBAフジボウル  
今年もPBAリーグヨナルは、7つの大会が用意されている。例年通り、PBA公認アニマルパターンで行われ、ボウラーなら誰でも参加OK、アマチュアにも賞金が出る国内希少のスポーツコンディションの大会だ。

第1戦PBAチーター(33フィート)は、難航不落のパターンとなって戻ってきた。「まじ、ヤバイ」と選手がつぶやくように、180余名の参加選手を大いに苦しめる。JPBAのトッププロ川添・藤井・工藤などシードプロが多く参戦。一方アマチュアではJBCナショナルチームやアマチュアトップボウラーが参加した。予選通過ラインは180余りとなり、如何にスケア確実にとるかが分かれ目になった。

その中で男子選手に交じり女子の高坂麻衣(PBA)・入江菜々美(JBC)・飯田菜々(JPBA)3選手が予選を通過したのは特筆ものだ。

優勝は畑秀明(JBC)選手。つい先日のアジアスクール選手権では金メダルを獲ったばかり。両手投げでは国内トップクラスの实力を持つ、若干18歳のアスリートだ。

予選6ゲーム、準決勝1回戦3ゲーム、2回戦3ゲーム。全てスコア持ち越し無しで行われ、1ゲームロススコアでも勝ち残ることができるフォーマットで、誰にでもチャンスがある。その中決勝シュートアウトに残ったのは、1位・畑秀明、2位・森

岩雄、3位・吉田文啓(JPBA)、4位・鶴見亮吾(JBC)、5位・柴山竜吾(JBC)、6位・藤井信人(JPBA)の6名。

ここで勢いに乗ったのは柴山選手。1回戦ワンショットプレイオフで、鶴見・藤井を撃破。3位の吉田、2位の森を200超えスコアで文句なく破る。決勝で待ち構えるのは畑選手。18歳と19歳のフレッシュな対決となった。最初リードしたのは柴山選手。ダブルスペアで、2度オープン畑選手を2マークリード。しかし柴山選手4フレ、2、5のスペアをミス。今年のチーターは微妙なアジャステイングミスを許さない。5フレストライク、6フレをスプリットでまたもオープン。この機を逃さないのが畑選手。6フレから9フレ迄フォースを持ってくる。粘る柴山選手。10フレパシチアウト193で相手を待つ。ところが畑選手10フレ一投目、3、6、10、7のまさかのスプリット。これを取らなければ負ける。絶対絶命の中、魂を込めた投球は、見事にスプリットカバー。観客にどよめきが走る。畑選手大きく握りこぶしを作る。優勝決定の瞬間だ。「投げやすいラインを見つけ投じた」昨年まで粗削り感があつたボウリングだったが、落ち着いたルーティンで一回り成長し、末恐ろしいアスリートとなって帰ってきた。一方、リーグヨナルに同じ10代の新しいスター、柴山選手が誕生した。

今年から地区予選を用意。中四国・関西・東海の3地区でも予選を行い、地方から参加を容易にした今年の大会。また新しいスターが誕生することだろう。